

令和3年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 竹原市

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東京書籍株式会社	<p>○巻末の資料編において、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」に係る基礎的・基本的な事項が示され、既習事項を振り返ることができる。</p> <p>○巻末に「学びを支える言葉の力」のまとめとして他教科や生活へのつながりが示してあり、主体的に学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>○前見返しに巻頭詩を置くとともに、中扉に短歌や俳句、巻末に言語文化に係る教材が掲載されており、伝統や文化について理解を深める教材が充実している。</p> <p>○教材文のテーマや作者・筆者に関連した図書が表紙写真とともに紹介され、読み広げに配慮している。</p> <p>○すべての学年において、教材、読書案内、読書活動の流れによる読書単元を設定しており、主体的な学びを進める工夫がある。</p>
書 写	東京書籍株式会社	<p>○「書写のかぎ」に文字を正しく書くための「ポイント」が示されており、留意すべき点を明確にしながら書写を行うことができるよう工夫されている。</p> <p>○職場訪問をしよう、本のポップを書こう等、身近な活動を題材として身に付けた知識・技能を生かす場面が設定されている。</p> <p>○本編中の各学年において書き初めが取り扱われており、書く時の姿勢を写真で示している</p> <p>○コラム「文字のいずみ」において、各学年5、6箇所の伝統や文化に関する内容が掲載されている。</p> <p>○「生活に広げよう」のテーマ単元において、作成したポップの感想を伝え合うなどの言語活動例が各学年に示してある。</p>
社 会 (地理的分野)	東京書籍株式会社	<p>○各章において導入資料、学習課題、1時間の学習を整理する「チェック」「トライ」、章全体の学習を確認する「基礎・基本の確認」が構造化されており、学習の流れが明確である。</p> <p>○「みんなでチャレンジ」において、写真や資料を読み取り、話し合う活動が設定されており、対話的な学びのための工夫がある。</p> <p>○「地域調査の手法」では、調査の手順が資料とともに示さ</p>

		<p>れている。</p> <p>○ワイド版に合わせた大きな写真や地図などの資料が最も数多く掲載されており充実している。</p> <p>○章末のまとめでは、自分の言葉でまとめる活動に加えて探究課題を設定しており、更なる学びを進めるための工夫がある。</p>
<p>社 会 (歴史的分野)</p>	<p>東京書籍 株式会社</p>	<p>○各章において導入資料、学習課題、1時間の学習を整理する「チェック」「トライ」、章全体の学習を確認する「基礎・基本の確認」が構造化されており、学習の流れが明確である。</p> <p>○章始めと章末に「探究課題」や「探究ステップ」が提示されており、生徒が主体的に学習課題を進め、振り返る工夫がある。</p> <p>○写真資料等に、国宝、世界遺産、重要文化財を示すマークを表示している。</p> <p>○ほぼ全てのページを同一のレイアウトで表記するとともに、全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。</p> <p>○グループで対話的に課題に取り組む「みんなでチャレンジ」や、学習のまとめの活動において思考ツールを用いて表現するページを設定している。</p>
<p>社 会 (公民的分野)</p>	<p>東京書籍 株式会社</p>	<p>○各章において導入資料、学習課題、1時間の学習を整理する「チェック」「トライ」、章全体の学習を確認する「基礎・基本の確認」が構造化されており、学習の流れが明確である。</p> <p>○学習の導入の活動が、単元の学習全体をつらぬく「探究課題」へとつなげられており、生徒が主体的に学習に取り組む工夫となっている。</p> <p>○掲載資料に教科関連マーク、分野関連マークを配置し、他教科や他分野、既習事項との関連を明確に示している。</p> <p>○資料や図が大きく数が精選されているとともに、色調や紙面構成について單元ごとの統一感がある。</p> <p>○思考ツールを使って考えを整理し記述する欄を設定しており、言語活動を展開しやすい工夫となっている。</p>
<p>地 図</p>	<p>株式会社 帝国書院</p>	<p>○A4版で全体を通して大判の地図が掲載されており、土地の高低差や地図の縮尺が詳しく表現されている。</p> <p>○防災と環境に関連する資料にマークが付けられており歴史と防災に関する拡大地形図がある。</p> <p>○「同緯度・同縮尺の日本」が表記され、常に日本との比較ができるよう編集されている。</p>

		<p>○二次元コードを世界各州と日本の地方ごとに掲載し、学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを閲覧できるようにしている。</p> <p>○各所に「地図活用」が配置され、読図や作図などを通して言語を使って考え、判断し、表現する学習へとつなげている。</p>
数 学	東京書籍株式会社	<p>○全国学力・学習状況調査の誤答例等を取り上げ、誤りを指摘し正しく直す学習活動を設定している。</p> <p>○導入課題として日常生活の一場面を「イラスト」と「問いかけ」で提示しており、生徒の素朴な疑問を引き出し解決への必然性を生む工夫がある。</p> <p>○図形領域のデジタルコンテンツでは、回転体等図形を動的に観察でき、また、図形の問題に新たな条件を加えて提示することができる。</p> <p>○すべての領域においてデジタル教材があり、特に「データの活用」領域におけるデジタル教材の数が多く充実している。</p> <p>○「事柄や事実」「方法や手順」「理由」を説明する「記述問題」や、互いの考えについて誤りを指摘し説明する学習活動が設定されている。</p>
理 科	東京書籍株式会社	<p>○各章の最初と最後に課題「Before&After」が提示されており、学習を通して身に付いた知識・理解を主体的に振り返ることができる。</p> <p>○探究の過程により、実験計画の立案や実験、考察を進めることができるように、フローチャートを示している。</p> <p>○「構想 調べ方を考えよう」「結果の見方」「考察のポイント」等により観察、実験を計画する視点や分析・解釈する視点を示している。</p> <p>○関連する内容の横に「これまで学んだこと」「(教科名)で学んだこと」という枠組みを設けている。</p> <p>○各学年の巻頭に「考えが異なったら考えを言葉にして議論しよう」を設定し、議論の進め方として6点と議論のポイントとして4点の視点を示している。</p>
音 楽 (一般)	株式会社教育芸術社	<p>○発声について3学年にわたり段階的に扱われていること、楽典の学習においてゲーム的要素を取り入れ反復学習ができることなど、音楽の基礎基本を定着するための工夫がある。</p> <p>○ICTの活用を想定した二次元コードが豊富に掲載されている。</p> <p>○教科横断的な学習についての掲載箇所が多く充実してお</p>

		<p>り、鑑賞教材は、様々なジャンルが網羅されている。</p> <p>○楽譜、写真を大きく掲載し、伝統芸能についてはメロディの動きを表に表すなどの視覚的支援がある。</p> <p>○曲のよさをプレゼンテーションする活動の設定により、言語活動の充実が図っている。</p>
音楽 (器楽合奏)	株式会社 教育芸術社	<p>○目次に続く学習内容のページに、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示している。</p> <p>○協働的に学習を進める「アンサンブルセミナー」を設定している。</p> <p>○紹介されている楽器の種類が多く、特に打楽器については15種類の紹介と説明があり充実している。</p> <p>○和楽器を演奏する際の姿勢と構え方、奏法について、体全体や指の動きが写真で視覚的に示されている。</p> <p>○「深めよう音楽」では表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面が設定されている。</p>
美術	光村図書 株式会社	<p>○題材ごとに目標を示しており、身に付ける力や学習のねらいを明確にしている。</p> <p>○題材ごとに、学びの流れが一目でわかる「授業が見える」紙面構成であるとともに、「表現」と「鑑賞」を一体的に学ぶことができる構成となっている。</p> <p>○国内の世界文化遺産の掲載が豊富であり、47都道府県の伝統工芸が示されている。</p> <p>○鑑賞の題材において紙質に工夫があり、鑑賞図版の上から書き込みができるトレーシングペーパーが綴じ込まれている。</p> <p>○すべての題材のはじめに、鑑賞図版とともに、対話を生む問いかけを示している。</p>
保健体育	株式会社 大修館書店	<p>○各章末の「章のまとめ」は、育成を目指す資質・能力の三つの観点にそった構成であり、自己評価を記入する欄がある。</p> <p>○「コラム」「事例」「保健の窓」「体育の窓」として、学習内容の理解を促す話題が掲載されている。</p> <p>○見開き1ページを1時間で学習する構成となっており、課題をつかむ、考える・解決する、まとめるといった一連の学習の流れが明確である。</p> <p>○「章のまとめ」に活用問題、自分の生活に活かす問題があり、自分の考えを表現する欄を設けている。</p>

<p>技術・家庭 (技術分野)</p>	<p>東京書籍 株式会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「TECHLAB」として、基礎的・基本的な技能について工程ごとにまとめて記述してある。 ○問題解決カードを設定し、学習のまとめにおいて新たな課題について考えさせるなど、問題解決能力を高める工夫がある。 ○他教科や小学校での学習について、17種類のマークを示し関連させている。 ○思考ツールを利用して考えを整理する活動が設定されている。
<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<p>東京書籍 株式会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○五大栄養素と6つの食品群の関連について折り込みページでわかりやすく示されている。 ○「蒸す調理法」について、蒸し器がない場合の調理法を紹介するなど、現代の家庭を想定した掲載がある。 ○「伝統・文化」に関する内容や他教科、小学校での学習との関連をマークで示している。 ○QRコードをユニバーサルデザインの観点から巻末の一覧にまとめて掲載しており、また、作業工程について動画とともに音声による解説がある。 ○ロールプレイングを取り入れた活動例や実習例など、言語活動の充実を図る工夫がある。
<p>英 語</p>	<p>東京書籍 株式会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目次に各単元の「活動目標 (GOAL)」を具体的に提示しており、学習の見通しを持たせる工夫がある。 ○小学校で習った英語表現を使う Unit 0 の設定により、中学校の学習への円滑な接続が図られている。 ○QRコードにおいて新出語句と本文の音声、Previewにおいて音声と映像を収録しており、音声と視覚による支援が豊富である。 ○「学習をふりかえろう - CAN - DO リスト -」を示し、学習の到達度を自己評価する欄を設定している。 ○4技能5領域を統合的に活用できる言語活動が設定されている。
<p>道 徳</p>	<p>日本文教 出版 株式会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニット教材が各学年5か所ずつ設定されており、内容項目を関連付けながら、多面的・多角的に学習を深める工夫がされている。 ○教材末に示された問いが2つに精選されており、人間としての生き方を深く考える工夫がある。 ○全学年に「いじめ問題」に対応した3, 4時間から成るユニット学習があり、学習時期を各学年4, 5月に配列している。 ○漫画やイラストを主たる資料とした教材があり、学習への

		<p>興味関心を高める工夫がある。</p> <p>○別冊「道徳ノート」に、友達の見解や話合いをメモする欄があり、また、自分の考えや、学習の振り返りを記述する欄が設けられている。</p>
--	--	--